

第1・2学年生活科学学習指導案

日時 令和元年11月20日(水) 3校時

児童 名寄市立智恵文小学校

第1学年 男子1名 女子2名 計3名

第2学年 男子2名 女子2名 計4名

授業者 教諭 上原 和希子

第1学年

1 単元名

「あきとともだちになろう」(教育出版上)

2 単元について

本単元では、身近な秋の自然と、直接諸感覚を使って触れ合うことを通して、それらの違いや特徴に気付くように促す。また、違いや特徴を振り返ったり交流したりすることで、自然物を使った遊びへと繋げていく。そして、秋の遊びを工夫して作ったり、遊びを振り返ったりすることを通して、その楽しさをたくさんの人に伝えたいという意欲をもたせ、どのように伝えればよいかを考えさせる。

レディネステストでは、生活科が好きな児童の割合は100%と高い。しかし、課題解決のための方法が分からず(50%)、学習の見通しをもって取り組むことには困難を感じている。また、秋の自然について記述できた割合は、33%である。さらに、図形などの読み取りは、93%の児童ができるが、文章の読み取りや自分の考えを書くことができるのは、50%である。

チャレンジテスト(1学期末)の中で、絵を見て文を書く問題の正答率は、75%だった。

これらの結果から、生活科を好きな児童は多く、意欲的に取り組んでいるが、絵や具体物、文を見たり読んだりして考えたことを表現することに課題があることがわかる。また、今までの生活科の学習では、春や夏の自然やあさがおの成長に関して、その変化などに着目し、気付いたことを絵や文でまとめて交流する学習を行ってきた。

そこで、本単元では、前時の体験と結びつけて本時の学習の問いや課題を考えることができるように、具体物やICTを使って、体験的な学習での気付きを想起させる。秋の自然物の名前やその特徴を教科書や本を使って調べ、写真や文を使ってまとめることを通して、知識を増やす指導を進める。また、生活科の学習の進め方を提示し、学習リーダーを中心として見通しをもって学習させる。

さらに、板書に思考ツールを使って児童の考えを構造化し、児童に自分の考えをもたせる。

第2学年

1 単元名

「えがおのひみつたんけんたい」(教育出版下)

2 単元について

本単元では、これまでの探検を通して生まれた問いを整理しながら、地域の公共施設の役割や地域の人の仕事について知り、地域への愛着をもつことが目標となる。生活科の学習は、繰り返しが重要となってくる。そのため、繰り返し地域の施設を見に行ったり、話を聞いたり、仕事を体験させてもらったりすることで、さらに新たな問いをもたせる。そして、自分の身の回りには様々な場所や様々な人たちが生活していることや、そこには様々な仕事があり、それらの仕事に携わっている人たちがいること、それらの関係や自分との関わりに気付かせる。

レディネステストでは、生活科が好きな児童の割合は100%と高い。しかし、学習の見通しをもち、学習リーダーが中心となって学習を進めていくことに困難を感じている児童が、50%いる。また、自分の考えを書くことを苦手としている児童は50%であり、それを基に、話し合っただけで考えを広げたり深めたりすることに課題がある。

チャレンジテストでは、文章から求められていることを読み取る問題の正答率は、90%だった。

これらの結果から、文章や図などの読み取りはできているが、読み取ったことを表現することに課題があることがわかる。

そこで、前時の体験と結びつけて本時の学習の見通しをもち考えることができるように、ICTを活用する。また、学習リーダーが中心となって見通しをもって学習を進めることができるよう、生活科の学習の進め方を提示する。そして、地域の施設や人について調べたり体験したりする学習を繰り返し、気付いたことを写真や絵、図、文など様々な方法で表現させ、地域への愛着も育てたい。

さらに、児童が思考ツールを使い、自分の考えを構造化し、言語で表現させることで、言語活動の充実を図るとともに、それを使って、話し合いを行うことで、自分の考えを広げ、深めさせる。

3 研究主題との関わり

(1) 上川へき地・複式教育研究連盟の研究主題との関わり

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」

- ～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- 地域素材の教材化（神社の森）
 - ICTの活用

(2) 名寄市へき地・複式教育研究連盟の研究主題との関わり

「ふるさとの仲間とともに学び合い、新しい時代を拓く心豊かな子どもの育成」

- ～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- 学習リーダー
 - ICTの活用

(3) 智恵文小学校の研究主題との関わり

「自ら考え、表現できる子どもの育成」
～学び方が身に付く指導の工夫～

問いを明確にした問題提示

- 体験的な学習の気付きから問いをもたせる工夫

ゴールの見通しをもたせる導入の工夫

- 明快な課題提示
- 学習の進め方の提示
- 学習リーダーの活用

自分の考えをもち、理由を明確に伝える工夫

- 思考ツールの工夫

3 研究主題との関わり

(1) 上川へき地・複式教育研究連盟の研究主題との関わり

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」

- ～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- 地域素材の教材化（支所・郵便局）
 - 言語活動の充実（国語科との関連）

(2) 名寄市へき地・複式教育研究連盟の研究主題との関わり

「ふるさとの仲間とともに学び合い、新しい時代を拓く心豊かな子どもの育成」

- ～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- 学習リーダー
 - 言語活動の充実（思考ツールの活用）
 - 対話的な学び（相違点の意識化）

(3) 智恵文小学校の研究主題との関わり

「自ら考え、表現できる子どもの育成」
～学び方が身に付く指導の工夫～

問いを明確にした問題提示

- ICTを活用した前時の振り返り
- 前時の気付きから問いをもたせる工夫

ゴールの見通しをもたせる導入の工夫

- 明快な課題提示
- 学習の進め方の提示
- 学習リーダーの活用

自分の考えをもち、理由を明確に伝える工夫

- 思考ツールの活用

4 単元の指導目標

【1年生】

○身近な自然を観察することを通して、季節の変化やそれに伴って生活の様子が変わること気付かせるとともに、身近な自然物を使って遊びや遊ばしに使うものを工夫してつくる活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付かせ、みんなで遊びを楽しませる。

【2年生】

○自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や公共施設などの様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもたせるとともに、人々と適切に接することや安全に気を付けて正しく利用させたり生活させたりする。

5 単元の評価規準

【1年生】

評価規準		
関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
・秋を探して調べたり遊んだりする活動の中で、自然の様子や季節の変化に興味をもち、見つけてきた木の実や葉っぱなどの自然物を使って遊ぶものを作ったり、友達と楽しく遊んだりしようとしている。	・遊びを楽しくするための材料や遊び方を工夫したり、「あきのたからものプレゼント」をする人たちのことを考えて、計画したりしている。	・秋になると自然の様子が変わること、自然の中で遊んだり身のまわりのものを使って作ったり、遊んだりすることや身近な人と交流することの楽しさに気付いている。

【2年生】

評価規準		
関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
・地域の人たちにすすんで挨拶するなど親しく関わったり、地域の自然を大事にしたりするとともに、きまりや規則を守って地域での生活をしようとしている。 ・学習を通してわかったことなどを友達や地域の人など、身近な人々と伝え合うことに関心をもち、交流しようとしている。	・探検を通して感じたことや思ったことを地域の人に伝える方法を考えたり、まちで見つけたことや体験してきたことを振り返って、工夫して適切に表現したりしている。	・地域のさまざまな人たちや自然、施設などは、自分たちの生活とつながりがあり、深く関わっていることに気付いている。 ・友達や地域の人など、身近な人々と互いに交流することの楽しさやよさに気付いている。

6 単元の指導計画

【1年生】 1 4時間扱い

次	時	目標	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
あきとともだ	1	秋の野原の様子がどのように変わったかに関心をもち、遊びに行きたいという思いをもつことができる。	身のまわりの秋の様子を予想しよう。 写真や具体物などから春や夏の様子と比べ、生き物の数や色、形や固さなどが変わっていることに気付き、話し合いをすることを通して、木の実や葉っぱを使ってどんな遊びができるかを考え、秋にできる遊びに気付き、期待感をもち。	・春や夏に観察したものについて想起させ、変化(量・色・形・固さ等)に気付かせる。 ・木の実や葉っぱを触らせて、どんな遊びができそうか考えさせる。	身のまわりの秋の様子に気付き、秋にできる遊びについて考え、発表したり、書いたりしている。【関】(発言・ワークシート)
	2	秋の野原(智恵文神社)で生き物を探したり、秋を感じたりしながら遊び、秋の生き物に関する気付きを深めることができる。	秋を見つけにいこう。	・見つけた秋について友達と交流し、様々な気付きを共有させる。	諸感覚(見る・聞く・触れる)を使って、秋に気付いている。【気】(発言・動画)
	3		北国博物館の方の話を聞きながら、秋の野原を見る。聞く、触れる活動を通して、秋を探し、遊びながら、秋の生き物に対する気付きを深める。 【秋の生き物】 ・葉(カエデ・イチョウ・コナラ・プラタナス・ケヤキ・ポプラ) ・木の実(マツボックリ・クリ・ドングリ)		

ち に な ろ う		<ul style="list-style-type: none"> ・草の実 (オナモミ・ススキ) ・虫 (コオロギ・バッタ・トンボ等) 			
	4	見つけた木の実や葉、草の実の名前や特徴を調べて気付いたことや分かったことをまとめることができる。	見つけた秋の不思議をまとめよう。 見つけた秋の生き物の具体物や動画を見て振り返りながら、不思議に思ったことを図鑑や教科書で、調べ、観察し、分かったことをカードにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物 (取ってきた生き物) や動画を見て、不思議を見つめられるように、ヒントカードなどで視点を与え、調べさせる。 	見つけた秋の生き物について観察したり調べたりして分かったことをまとめている。 【思・表】(発言・ワークシート)
	5	見つけた木の実や葉、草の実の特徴ごとに分類したり比べたりしながら、その類似点や相違点に気付くことができる。	もっと見つけた秋 (たからもの) の不思議を増やそう。 木の実や葉っぱを互いに見せ合い、色や形で分類したり比べたりしたものを思考ツールで整理してまとめ、類似点や相違点に気付き、秋の生き物に対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・分類・比べるための視点 (色や形など) の書かれたヒントカードを用意して、分類させる。 	秋の生き物を分類したり比べたりしながら、その類似点や相違点に気付いている。 【気】(発言・ワークシート)
6	見つけた木の実や葉、草の実の特徴などを言葉や絵で表して発表し、自然物の面白さや不思議さに気付くことができる。	見つけた秋 (たからもの) の不思議を、交流しよう 調べた名前、木の実や落ち葉の特徴、観察して気付いたこと、類似点や相違点を言葉や絵で表したものを発表し、相互交流して更に分かったことを増やすことができるようにするとともに、その特徴が、遊びに使うものづくりのヒントになることに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する際に必要な視点を示し、発表の練習をする時間を確保することで、自信をもって発表させる。 ・発表を聞くときは、類似点と相違点を意識させ、感想を交流させる。 	相互交流することで、秋の生き物についての理解を深め、秋の生き物を使った遊びやものづくりを生かせることに気付いている。 【気】(発表・交流・ワークシート)	
二 あ き の	7	秋の自然の楽しさを味わいながら、木の実、身近なものを使って遊びや遊びに使うものを工夫して作ることができる。	見つけた秋 (たからもの) で何が作れるか考えよう。 図鑑や教科書を参考にして、どのようなものを作ることができるかを調べたり考えたりし、工夫しながら作ったり改良したりすることができる。 【遊ぶおもちゃ】 ・マツボックリのけん玉・マツボックリツリー・落ち葉の絵・落ち葉の魚釣り・落ち葉のネックレス・どんぐりごま・どんぐりのマラカス・どんぐりのやじろべえ・どんぐり迷路・どんぐりゴルフ等	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついた遊びを交流し、類似点や相違点に注目させ、それを整理して示すことで、多くの遊びを生かせることに気付かせ、作成に活用させる。 	遊びを楽しくするための材料や遊び方を考え、遊びやおもちゃを作っている。 【思・表】(発言・作品・動画)
	8	秋の自然の楽しさを味わいながら、木の実や葉、身近なものを使って作ったもので遊び、その面白さや不思議さに気付き、みんなで楽しみながら遊びを創り出している。	見つけた秋 (たからもの) で遊ぼう。 作ったもので友達と一緒に遊びながら、遊び方を工夫したり、紹介したりすることを通して、身の回りのもので作ったり、遊んだりすることの楽しさに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に紹介する観点を示すとともに、遊び方の工夫や楽しかったことをまとめて示すことで、遊び方を工夫したり紹介させる。 	秋の生き物を使って作ったり、遊んだりすることの楽しさに気付いている。 【気】(紹介・作品・動画)
	9	秋の生き物の特徴や、それを生かした遊び、様々な人といろいろな遊びができることに気付くことができる。	秋のたからものの特徴から、他に作りたいものを見つけよう。 活動を楽しむためのアイデアをカードに書いて交流し、思考ツールを使って整理することで、作ったおもちゃの楽しさに気付く。 【活動を楽しむためのアイデア】 「どんなことに気付いたか」(色・形・大きさなど) など 「どんなおもちゃを作りたいか」 「他に欲しいものは何か」 「誰と遊びたいか」「誰に伝えたいか」	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を楽しむためのアイデアを項目で示すことで、カードにどのような項目を書けば良いか気付かせる。 	秋の生き物の特徴や、それを生かした遊び、様々な人といろいろな遊びができることに気付いている。 【気】(発言・カード・ワークシート)
三 あ き の	10	木の実や葉を使って遊んだ楽しさを身近な人々に伝えたいという意欲を高め、「あきのたからものランド」を伝えるために話し合い、計画を立てることができる。	見つけた秋 (たからもの) を使って遊んだ楽しさを伝える計画を立てよう。 前時で考えた伝えたい相手とその楽しさについて想起させ、どのような方法で「あきのたからものランド」を伝えるか思考ツールでまとめ、視点を明確にして整理することで、計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てるために必要な視点を示すことで、児童の考えを引き出す。 	相手意識をもって、「あきのたからものランド」に必要な準備について考え、計画を立てている。 【思・表】(発言・ワークシート)
	11	相手意識をもって、「あきのたからものランド」に必要なものを作ったり、準備をしたりすることができる。	「あきのたからものランド」の準備をしよう。 前時で立てた計画に沿って、相手を意識して、「あきのたからものランド」の楽しさを伝えるために、必要なものを作ったり準備したりする。 【遊ぶおもちゃ】 マツボックリのけん玉・マツボックリツリー・落ち葉の絵・落ち葉の魚釣り・落ち葉のネックレス・落ち葉のプール・どんぐりごま・どんぐりのマラカス・どんぐりのやじろべえ・どんぐり迷路・どんぐりゴルフ等・実を使ったハン	<ul style="list-style-type: none"> ・招待状や発表等の見本などを用意することで、準備に必要なものや情報に気付かせる。 	相手意識をもって、「あきのたからものランド」に必要なものを作ったり、準備をしたりしている。 【思・表】(作品・ワークシート)

を ひ ろ げ よ う	12	相手意識をもって、「あきのたからものランド」の準備をし、新たな工夫に気づき、より良い計画を考えることができるようにする。	カチなどの色染め 「あきのたからものランド」でもっと楽しさを伝えるために、工夫しよう。 伝え方や遊び方、ルールを話し合ったり、伝える相手役と伝える役に分かれて、試しに発表したり、遊んでみたりして、新たな工夫に気づき、より良い計画を考えることができるようにする。	話し合いを視覚的にまとめたり、発表や遊びの様子を動画に撮って振り返ったりすることで、工夫に気付かせる。	相手意識をもって、「あきのたからものランド」の準備をし、新たな工夫に気づき、より良い計画を考えている。【思・表】（動画・作品・ワークシート）
	13	「あきのたからものランド」の楽しさを伝え、相手を楽しむ工夫をし、交流することの楽しさに気付くことができる。	「あきのたからものランド」の楽しさを伝えよう。 動画やおもちゃを届け、その感想を交流することで、「あきのたからものランド」の楽しさを地域の人や他の小学校と伝え合い、楽しさを共有し、交流することの楽しさに気付く。	自分たちの伝えた内容と相手の学校の内容とを比べさせ、いろいろな楽しさがあることに気付かせる。	他の小学校や地域の人と「あきのたからものランド」について交流することを通して、その楽しさに気付いている。【気】（発言・ワークシート）
	14	「あきのたからものランド」で学習して分かったことを振り返り、気付いたことや感じたことを表現することができる。	「あきのたからものランド」で分かったことやできるようになったことを振り返ろう。 今まで作ったものやワークシート、動画などから、「あきのたからものランド」で学習して分かったことを振り返り、気付いたことや感じたことを表現する。	ワークシート等に印をつけておくことで、今までの学習で分かったことやできるようになったことを想起させる。	「あきのたからものランド」で学習して分かったことを振り返り、気付いたことや感じたことを表現している。【思・表】（発言・ワークシート）

【2年生】24時間扱い

次	時	目標	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
え が お の ひ み つ た ん け ん た い ①	1	これまでのまちな探検でお世話になった人や訪ねた所などを思い起こすとともに、また見に行きたい、もっと知りたいなどの意欲を高めることができる。	もっと探検したいところを見つけよう。 前回のまちな探検でまとめたものや写真を見て思い出すことを通して、疑問に残っているところや新たに調べたいところを考える。	もっと探検した場所や人など、視点を示して、自分の意見をもたせる。	前回のまちな探検のことを思い出しながら、新たに探検したことについて考えようとしている。【関】（発言・ワークシート）
	2	もう一度行ってみたい場所や目的を明確にし、どのような視点で探検をしたらよいかに気付くことができる。	探検したいことを話し合おう。 見たいこと、聞きたいこと、やってみようとする視点ごとに調べたいことを付箋に書いて貼る。 どのような仕事があるのか、具体物（パンフレット・ポスター・写真等）を提示し、探検で調べたいことが前回のまちな探検よりも深める。 ・智恵文支所 目に見える仕事→多目的研修センターの運営・地域イベント企画の運営・医療バスの運営 目に見えない仕事→各種証明書の発行・各種届け出の受付・市税等歳入金の納入・地域の見守り等 ・郵便局 目に見える仕事→郵便受け取り・配達業務 目に見えない仕事→郵便物流業務・金融窓口業務・保険業務 調べたいことを全員が把握する。	適宜、前回の探検の発表物や写真を見せ、前時にできた意見を思い出させ、自分の意見をもたせる。	探検したい場所や目的について知り、どのような視点で探検をしたらよいかに気付いている。【関】（付箋・発言・ワークシート）
	3	もう一度行ってみたい場所や目的を明確にし、友達と協力しながら探検の計画を立てることができる。	探検したいことをまとめて、計画を立てよう。 思考ツールを使って付箋紙を分類し、行く場所や目的・約束などについて話し合うことを通して、探検の計画を立てる。	分類するときの視点を示すことによって、計画に必要なことを考えさせる。	探検する場所での目的や方法について考え、計画づくりをしている。【思・表】（付箋・発言・ワークシート）
	4	探検する時は、場所に応じて、気を付けることがあることに気付くことができる。	探検の計画をまとめよう。 前時までに話し合ったことや自分の目あて、約束について探検カードにまとめることを通して、探検するときに気を付けることがあることに気付く。	前時に分類整理した内容が、探検カードのどこにまとめれば良いかを話し合わせることで、一人一人に気を付けることを気付かせる。	探検する時は、場所に応じて、気を付けることがあることに気付いている。【気】（探検カード・発言）
	5	探検場所で、仕事をする人たちの様子について、	まちな人は、どのような仕事をしているのだろう。	探検カードにまとめた調べた	目に見える以上に、様々な仕

	6	発見したり、聞き取ったりし、さまざまな仕事があることに気付くとともに、どのような工夫や努力をしているのか考えることができる。	探検に行き、見る、聞く、話す、書く、写真を撮る活動を通して、様々な仕事があることに気付く。 ・智恵文支所 目に見えない仕事→各種証明書の発行・各種届け出の受付・市税等歳入金 の納入・地域の見守り等 ・郵便局 目に見えない仕事→郵便物流業務・金融窓口業務・保険業務 今まで発見していなかった目に見えない仕事に気付く。	いことに立ち返るように促すとともに、質問や写真を撮る時間を十分に確保する。	事があることに気付いている。【気】(探検カード・発言・写真)
	7	仕事をしている人々が、どのような工夫や努力をしているのか考え、言葉や絵などで表現することができる。	まちで仕事をしている人は、どのような工夫や努力をしているのか考えよう。 仕事をしている人について、探検して分かったことや考えたことを言葉や絵でワークシートにまとめる活動を通して、どのような工夫や努力をしているのか考え、智恵文支所も郵便局も地域貢献の取組をしていることに気付く。 智恵文支所 ・地域に密着したイベントの開催等 郵便局 ・地域の見守り活動等	・言葉や絵で表すことが難しい場合は、写真や短い言葉(単語)で表す方法を提示して、自分に合った方法で取り組ませる。	仕事をしている人々が、どのような工夫や努力をしているのか考え、言葉や絵などで表現している。【思・表】(ワークシート・発言)
	8	仕事をしている人々が、どのような工夫や努力をしているのか考え、発表することができる。	まちで仕事をしている人は、どのような工夫や努力をしているのか交流しよう。 ワークシートにまとめたことを、実物投影機を使って説明・交流する活動を通して、どのような工夫や努力があるのか考えを深めるとともに、仕事してみたいという意欲を高める。	・発表する時や聞く時に大事な視点を示し、視点に沿って表現ができるようにする。	仕事をしている人々が、どのような工夫や努力をしているのか考え、発表している。【思・表】(発表・ワークシート)
二 え が お の ひ み つ た ん け ん た い ②	9	探検場所で作業の一部を体験したり、手伝ったりすることを通して、仕事の大変さや苦労、仕事をしている人たちの思いなどに気付くことができる。	仕事にチャレンジしよう。 まちの施設に探検に行き、仕事の過程や道具などを見せてもらうとともに、仕事の内容やそのやり方を教えてもらって手伝う活動を通して、仕事をしている人たちの工夫や努力、思いについて体験的に気付く。 【体験する仕事】 智恵文支所 ・ホールの整備 ・ポスターの差し替え 郵便局 ・体験(デモ)	・仕事をしながら、工夫していることやがんばったこと(努力)、思ったことなどの気付いたことを発言するように促し、その様子を動画に撮影することで振り返らせる。	仕事をしている人たちの工夫や努力、思いについて体験を通して実感的に気付いている。【気】(発言・動画・ワークシート)
	10	仕事の大変さや苦労、仕事をしている人たちの思いなどに気付くとともに、分かったことをカードなどに表すことができる。	仕事にチャレンジして、わかったことをまとめよう。 前時に体験した仕事について、工夫・努力・思いという視点で、写真や動画、ワークシートを見て振り返る活動を通して、感じたことや考えたことを、言葉や絵で表す。	・工夫・努力・思いという視点を示して思考ツールを使って視覚的にまとめることで、自分の考えをもたせる。	体験した仕事の工夫・努力・思いについて、言葉や絵で表現している。【思・表】(カード)
	11	体験した仕事の工夫・努力・思いについて、相互交流することで理解を深めることができる。	仕事にチャレンジして、わかったことを整理しよう。 一人一人が見つけた仕事の工夫・努力・思いを相互交流することで、仕事によって、いろいろな難しさ、大変さ、喜びなどがあることに気付く。	・工夫・努力・思いという視点を示して思考ツールを使って視覚的にまとめることで、自分の考えをもたせる。	体験した仕事の工夫・努力・思いについて、相互交流することで理解を深めている。【気】(発表・ワークシート)
三 え が	12	探検場所で体験したことを知らせたいという意欲をもって、どのような表現活動で伝えたらよいかを考えることができる。	仕事で見つけたことを、伝えよう。 見たり、聞いたり、体験したりしてきたことを、今までまとめてきたものを振り返る。また、地域の人に、何を、どのように伝えたいか思考ツールを使って整理させ、考える。	・伝えたいことが考えられない児童には、撮りためた写真や動画から、地域の人に伝えたいことを考えさせる。	体験したことを知らせたいという意欲をもって、どのような表現活動で伝えたらよいかを考えている。【思・表】

お				(ワークシート・発言)	
の ひ み つ を ひ ろ げ よ う	14	探検場所で体験したことを自分たちで選んだ方法で表現することができる。	仕事で見つけたことを、伝える準備をしよう。	自分が伝えたい思いと伝える相手へのわかりやすさの両方の視点で考えさせる。	体験したことを伝えるために、何をどのように表現すると伝わるかがわかっている。 【気】(発表物・ワークシート)
	15		地域の人に伝えるために適切な方法を、絵本やクイズ、絵地図、新聞、動画などの方法の中から話し合って選び、友達と協力してまとめる。		
	16	探検場所で体験したことを自分たちで選んだ方法で表現し、友達や地域の人に伝え合うことができる。	地域の人に、仕事で見つけたことを伝えよう。	動画で発表を撮影し、自分たちの発表を客観的に振り返らせる。	地域の人に分かりやすく伝えるためには、何をどのように表現すると伝わるか考えながら、発表している。【思・表】(発表・ワークシート)
	17		地域の人に、仕事で見つけたことについて、みんなで選んだ方法でわかりやすく伝えるとともに、自分たちの発表について振り返り、まちのよさやより良い発表について考える。 【智恵文のまちのよさ】 智恵文支所・郵便局の仕事 働いている人		
18	本時	見つけたまちのよさや、知ってほしいこと、人などを伝えるために、発表する内容について考えることができる。	だれに、どんなことを伝えたいか考えよう。 まちのよさ(地域貢献の取組)を中心とした知らせたいこと(仕事・人)の中から、誰に何を伝えたいか、またよりよく表現する方法について思考ツールを使って考え、発表する内容を深める。 ※教科横断的な指導：国語との関連(発表する内容を話し合う活動)	表現方法や発表内容について、友達の意見を聞いて、深まるように、思いや考えの相違点を考えながら聞くように指導する。	相手に分かりやすく伝えるための方法や発表する内容について考えている。【思・表】(発言)
19	20	見つけたまちのよさや、知ってほしいこと、人などを伝えるために、発表を計画し準備をすることができる。	発表計画を立てて、準備や練習をしよう。 まちのよさ(地域貢献の取組)や知らせたいこと(仕事・人)を、分かりやすく伝えるために、発表資料を修正し、練習を見合い、より良い発表方法を工夫する。	発表で大切な視点を確認し、動画に撮った発表練習を見合うことで、互いにアドバイスさせる。	発表する内容と自分の役割を考えて、発表練習や交流をしている。【思・表】(発表・発表資料)
21	本時	発表で工夫した表現ができるとともに、学んだまちのよさを多くの人に伝えたりすることによって、新たにまちのよさを見つけた、すばらしい人の存在や交流することのよさに気付いたりすることができる。	他の学校の友達に、探検して見つけたことを伝えよう。 まちのよさ(地域貢献の取組)や知らせたいこと(仕事・人)を選んだ方法で発表するとともに、質問したり感想を述べたりして評価し合う。	発問を工夫したり、探検を想起させたりすることで、まちのよさを見つけることにつなげさせる。	他の学校の感想から、今までとは違ったまちのよさに気付いている。【気】(発言・ワークシート)
22		他の学校の感想から、今までとは違ったまちのよさに気付くことができる。	他の学校の友達の感想を読んで、自分たちのまちとくらべよう。 他の学校の友達の感想を読んで、仕事の内容・工夫・努力・思いなどの共通点や相違点を比べ、自分たちのまちのよさへの気付きが深める。	適宜、視点を沿って、共通点や相違点を比べ、まとめる活動を行わせながら、自分たちのまちのよさに目を向けさせる。	他の学校の感想から、今までとは違ったまちのよさに気付いている。【気】(発言・ワークシート)
23		まち探検を通して、お世話になった人に感謝の気持ちを伝え、地域への愛着をもつことができる。	お世話になった人に、感謝の気持ちを伝えよう。 まち探検でお世話になった人にお礼を伝えるために、どのような方法があるかを話し合い、その作業をすることで、地域への愛着をもつ。	国語科で手紙を書いたことを想起させ、お礼を伝えるための方法を考えさせる。	まちの人に喜んでもらえることを考えて、お礼をつたえるための方法を見つけ、作業している。【思・表】(発言)
24			「えがおのひみつたんけんたい」で出会った人について、分かったこと 思ったことを振り返ろう。 これまでの活動で作ってきた発表物・動画などを見て、活動を振り返り、出会ったまちの人々について分かったことや思ったことを紹介カードとして書いてまとめ、交流する活動を通して、まちのよさへの理解が深まるようにする。	これまでの活動の成果(動画・発表物・ワークシート)などを見て、そこから紹介したいことを見つけていることができるように指導する。	探検先の人の紹介をカードに書く活動を通して、これまでの活動を振り返り、まちのよさに気付いている。【気】(カード・発言)

7 本時の指導

○本時の目標

【1年生】・他の小学校や地域の人と「あきのたからものランド」について交流することを通して、その楽しさに気付くことができる。(気付き)

【2年生】・他の学校の感想から、今までとは違ったまちのよさに気付くことができる。(気付き)

	第1学年 13 / 14時間		第2学年 21 / 24時間			
過程	児童の活動	教師の働きかけ ◆評価 留意点☆ 研究内容 : : : :	指導 形態	児童の活動	教師の働きかけ ◆評価 留意点☆ 研究内容 : : : :	過程
つかむ 7分	1 前時の学習の振り返り ・具体物 (おもちゃ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・どんぐりごまを作ったよ。 ・やじろべえを作ったよ。 →・紹介したいな。 </div>			1 発表の練習		つなげる 7分
	2 本時の学習課題の提示					
	課題 「あきのたからものランド」のたのしさをこうりゅうしよう。					
	3 発表の仕方を確かめる。	☆考える視点 ・「何を使って」「どんなものを」作ったのか ・どのようにして遊ぶのか				
考える 23分	4 発表の練習 (3分)			2 本時の学習課題を知る	○本時の学習課題の提示	つかむ 3分
				課題 中名寄小の友だちに、探検して見付けたことを伝え、感想を聞こう		
				3 発表方法の確認をする。	○発表方法の確認 (Web会議システムを活用)	
				4 発表の仕方(伝え方)や内容について、確かめる。 《予想される児童の発言》 ・声が聞こえないかもしれないから、大きくゆっくり話そう。 ・まわりの人は、静かにしよう。 ・とくに伝えたいところは、指さすといいかな。 ・〇〇のことは、特にしっかりと伝えたい。1 前時の学習の振り返り		

	<p>5 Web会議システムを活用した発表</p> <p>6 中名寄小児童の発表</p>	<p>☆努力を要する子への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科の学習で、考えた「何を」を想起させる。(教科横断的な指導) 	<p>同時直接</p>	<p>5 Web会議システムを活用した発表</p> <p>6 中名寄小児童の質問や感想発表</p>	<p>☆努力を要する子への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科の学習で、考えた「何を」を想起させる。(教科横断的な指導) 	<p>考える</p> <p>20分</p>
<p>まとめ・つなげる</p> <p>15分</p>	<p>7 ワークシートに気付いたことや思ったことを書く(次時の活動へつなげる)。</p>	<p>ワークシートの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋のたからものをつかったおもちゃの楽しさ ・中名寄小の児童が作ったおもちゃとのちがい <p>◆【気付き】交流して分かったことや楽しかったことをワークシートに記入している。</p>		<p>7 ワークシートに気付いたことや思ったことを書く(次時の活動へつなげる)。</p>	<p>ワークシートの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(質問や感想からの)ちがいやよさ <p>◆【気付き】感想を聞き、中名寄地区との違いや智恵文のよさをワークシートに書いている。</p>	<p>まとめ</p> <p>15分</p>
	<p>まとめ こうりゅうしたら、じぶんたちはちがうたのしみかたがあった。</p>			<p>まとめ こうりゅうすると、気づかなかったところがわかった。</p>		
	<p>8 学習の振り返りをワークシートに書く。</p> <p>9 振り返りを交流する。</p> <p>10 次時の学習を知る。</p>			<p>8 学習の振り返りをワークシートに書く。</p> <p>9 振り返りを交流する。</p> <p>10 次時の学習を知る</p>		
	<p>もっとたのしくなるくふうをしよう</p>			<p>「町のよさ」をせいりしよう</p>		

8 評価

○1年生

- ・他の小学校や地域の人と「あきのたからものランド」について交流することを通して、その楽しさに気付いている。〈気付き〉

【評価場面】 発言・ワークシート

□努力を要する児童への手立て

- ・「何を使って」「どんなものを」作ったのかを確かめさせる。

○2年生

- ・他の学校の感想から、今までとは違ったまちのよさに気付いている。〈気付き〉

【評価場面】 発言・ワークシート

□努力を要する児童への手立て

- ・国語科の学習で、考えた「何を」を想起させる。(教科横断的な指導)

9 成果と課題

<全体の成果>

- ・BizMee-WebRTC 無料 Web 会議システムを活用することで、遠隔地でのリアルタイムの交流が可能になった。
- ・他地域と交流することで、考える視野を広げることができた。意欲が高まった。
- ・同じ単元を同時期に交流することで、理解を深めることができた。

<1年生>

- ・秋の宝物を使って作ったものが、中名寄の友達と違ったことから、秋の自然物を使いいろいろな物を作ることができることに気付き、もっと作ってみたいという思いをもつことができた。
- ・中名寄の友達に伝えるという相手意識をもって発表することができた。
- ・感想を交流し、発表を賞賛されたことで、達成感や自信をもつことができ、今後の活動への意欲が高まった。

<2年生>

- ・中名寄には、郵便局や支所がないということに気付くことができた。そこから、違う地域の人と交流すると、知らないことに気付くことができると分かった。
- ・中名寄の友達に伝わるように話すことを意識し、目線や話す速さに気を付けて発表することができた。
- ・感想をもらったことで、また、何かを調べて発表したいという思いを持つことができた。

<改善点・課題>

- ・BizMee-WebRTC 無料 Web 会議システムは、大型画面に投影する際、有線で接続し投影するとお互いの音が聞こえるが、AppleTV での接続になると、音が全く聞こえなくなってしまう。事前に、当日と同じ状態で確認することが必要である。
- ・BizMee-WebRTC 無料 Web 会議システムは、大型画面に投影するために有線で接続すると、音がテレビから出力されず、タブレットからの出力だけになってしまう。音量が小さく、大人数での会議が難しい。回線の問題が考えられる。スピーカーの使用について、事前に準備したり使用して確認することが必要である。
- ・智恵文小学校の様子が、発表の時のみしか見ることができず、中名寄小児童の発表の時に、智恵文小児童の反応を見ることができなかつたので、きちんと伝わっているかどうかわからなかつた。
- ・相手意識をもって活動することが大切である。iPad の操作に慣れておくとともに、画面の向こうには発表する相手がいるのでカメラに顔を向けること、床がうつるなど画面がぶれていたのがカメラを固定することなどに留意する。

